

平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月10日

上場会社名 株式会社カンセキ 上場取引所 大  
 コード番号 9903 URL <http://www.kanseki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 静夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 高橋 利明 (TEL) 028-659-3112  
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	22,693	△1.9	916	△13.2	622	△23.5	356	1.9
24年2月期第3四半期	23,138	6.5	1,056	63.7	813	107.6	349	143.1

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 351百万円(△3.2%) 24年2月期第3四半期 363百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	24.05	—
24年2月期第3四半期	23.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	26,565	4,956	18.7
24年2月期	26,338	4,642	17.6

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 4,956百万円 24年2月期 4,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	2.50	2.50
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	△2.1	950	△17.3	600	△26.6	330	△47.2	22.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年2月期3Q	16,100,000株	24年2月期	16,100,000株
25年2月期3Q	1,295,800株	24年2月期	1,295,800株
25年2月期3Q	14,804,200株	24年2月期3Q	14,804,200株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年3月1日から平成24年11月30日)におけるわが国経済は、東北を中心に復興需要による景気回復が見受けられるものの、欧州財政危機の長期化、米国の財政難、近隣諸国との不安定な状況等、経済の先行き不透明感は増しており、消費者の購買意欲は後退しております。

そうした中、当社グループにおける第3四半期連結累計期間は、昨年の震災による復旧修理特需から平常へと戻り、利益面などに反動減があるものの、粗利益率の向上に努め、前年同第3四半期連結累計期間と比較して、粗利益率が改善されております。

当第3四半期連結累計期間における、売上高は226億93百万円(前年同四半期比1.9%減)、営業利益は9億16百万円(前年同四半期比13.2%減)、経常利益6億22百万円(前年同四半期比23.5%減)、特別利益に固定資産売却益12百万円及び賃貸借契約解約益4百万円、特別損失に固定資産除売却損13百万円及び投資有価証券評価損3百万円を計上し、その結果、四半期純利益は3億56百万円(前年同四半期比1.9%増)となりました。

なお、報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### [ホームセンター事業]

ホームセンター事業につきましては、震災に関わる需要が落ち着き、前期と比較して売上、利益面に反動減が生じている状況であります。当第3四半期において、9月に真岡店(栃木県真岡市)のネオサイクリスタを近接地に移転増床し、より専門性を高めるとともに、新たに切花工房を開設し、生花販売等の強化を図りました。10月に会津若松店(福島県会津若松市)において、店舗レイアウト及び商品構成の見直しを実施し、店舗の活性化を図りました。また、お客様の利便性を高めるため、10月に栃木店(栃木県栃木市)、11月に佐野店(栃木県佐野市)の2店舗に灯油販売所を新設いたしました。

これらの結果、営業収益は143億円(前年同四半期比3.8%減)、セグメント利益は5億71百万円(前年同四半期比13.4%減)となりました。

#### [WILD-1事業]

WILD-1事業につきましては、9月、10月にかけて平均気温が高く推移したことにより、新たにアウトドアを始めるお客様が見受けられるなど、キャンプ用品の売上が好調だったことに加えて、11月に入り、寒さが徐々に本格化する中、冬物ウェアの動きが活発化いたしました。

これらの結果、営業収益は48億16百万円(前年同四半期比1.4%増)、セグメント利益は4億76百万円(前年同四半期比0.9%減)となりました。

〔専門店事業〕

専門店事業につきましては、業務スーパー店舗において、来店客数が依然順調に増加しており、冷凍肉や日配品などの価格戦略商品を中心に、好調を堅持しております。

オフハウス店舗においては、これまで動きが鈍かった高級時計や高級バッグなど的高額商品の売上が上向くとともに、寒さが増すにつれ、冬物のメンズ・レディース衣料の販売も活発化し、堅調に推移しております。

飲食店舗においては、フランチャイズから直営店への移行によりサンマルク宇都宮八幡台店（栃木県宇都宮市）を11月に閉店し、飲食店舗は4店舗となりました。

これらの結果、営業収益は38億66百万円（前年同四半期比2.5%増）、セグメント利益は1億85百万円（前年同四半期比19.2%減）となりました。

〔店舗開発事業〕

店舗開発事業につきましては、計画通りに安定した利益を上げております。

店舗開発事業における営業収益は6億1百万円（前年同四半期比5.7%減）、セグメント利益は1億31百万円（前年同四半期比9.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、265億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億26百万円の増加となりました。主な要因としては、借入金の返済等による現金及び預金の減少3億77百万円及び減価償却や敷金及び保証金の返還による固定資産の減少1億7百万円の減少要因に対し、クレジット売上増に伴う売掛金の増加1億30百万円及び季節商材の仕入等による商品の増加5億87百万円の増加要因によるものであります。

負債は、216億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円の減少となりました。主な要因としては、支払手形及び買掛金の増加7億39百万円、短期借入金の増加1億53百万円の増加要因に対し、長期借入金の減少8億51百万円、長期預り敷金保証金の減少31百万円及び確定拠出年金分割移換金の拠出等によるその他固定負債の減少84百万円の減少要因によるものであります。

純資産は、49億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億14百万円の増加となりました。主な要因としては、配当金の支払37百万円の減少要因に対し、当第3四半期連結累計期間において四半期純利益3億56百万円を計上したことによるものであります。この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は18.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の業績予想につきましては、平成24年10月12日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,263,843	886,108
売掛金	131,280	262,156
商品	4,566,621	5,154,274
その他	643,417	637,622
貸倒引当金	△2,374	△3,753
流動資産合計	6,602,788	6,936,408
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,017,955	3,921,028
土地	11,696,299	11,760,068
その他(純額)	180,639	244,342
有形固定資産合計	15,894,894	15,925,439
無形固定資産		
	681,409	669,383
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,566,091	2,419,365
その他	593,601	614,550
貸倒引当金	△133	△83
投資その他の資産合計	3,159,558	3,033,832
固定資産合計	19,735,863	19,628,655
資産合計	26,338,652	26,565,063
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,135,299	3,874,719
短期借入金	7,059,734	7,213,415
未払法人税等	224,434	147,405
賞与引当金	—	62,438
ポイント引当金	159,279	165,479
その他	649,632	605,111
流動負債合計	11,228,380	12,068,569
固定負債		
長期借入金	8,569,514	7,717,562
退職給付引当金	640,485	679,015
役員退職慰労引当金	28,340	28,340
資産除去債務	82,117	83,227
長期預り敷金保証金	574,179	542,478
その他	573,172	488,927
固定負債合計	10,467,807	9,539,550
負債合計	21,696,187	21,608,119

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,926,000	1,926,000
資本剰余金	1,864,000	1,864,000
利益剰余金	1,039,700	1,358,736
自己株式	△232,317	△232,317
株主資本合計	4,597,382	4,916,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,081	40,524
その他の包括利益累計額合計	45,081	40,524
純資産合計	4,642,464	4,956,943
負債純資産合計	26,338,652	26,565,063



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	23,138,388	22,693,213
売上原価	16,492,080	16,134,419
売上総利益	6,646,308	6,558,793
営業収入	914,511	909,974
営業総利益	7,560,819	7,468,767
販売費及び一般管理費	6,504,622	6,552,250
営業利益	1,056,196	916,517
営業外収益		
受取利息	1,324	654
受取配当金	3,216	4,416
受取保険金	17,212	20,166
その他	8,436	6,447
営業外収益合計	30,189	31,684
営業外費用		
支払利息	271,657	269,565
支払手数料	—	54,955
その他	1,195	1,192
営業外費用合計	272,852	325,714
経常利益	813,533	622,488
特別利益		
固定資産売却益	111,811	12,460
賃貸借契約解約益	480	4,965
特別利益合計	112,291	17,426
特別損失		
固定資産除売却損	123,410	13,124
賃貸借契約解約損	88	73
投資有価証券評価損	—	3,508
災害による損失	125,905	—
退職給付制度改定損	50,159	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37,696	—
その他	7,405	—
特別損失合計	344,665	16,706
税金等調整前四半期純利益	581,159	623,207
法人税、住民税及び事業税	330,291	289,408
法人税等調整額	△98,708	△22,247
法人税等合計	231,583	267,160
少数株主損益調整前四半期純利益	349,576	356,046
四半期純利益	349,576	356,046

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	349,576	356,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,564	△4,557
その他の包括利益合計	13,564	△4,557
四半期包括利益	363,140	351,489
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	363,140	351,489

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年11月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセンタ ー	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	14,871,861	4,751,065	3,770,650	637,266	24,030,844	22,054	24,052,899	—	24,052,899
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	9,801	9,801	53,315	63,116	△63,116	—
計	14,871,861	4,751,065	3,770,650	647,067	24,040,645	75,369	24,116,015	△63,116	24,052,899
セグメント利益	659,715	480,514	230,075	120,030	1,490,336	19,425	1,509,762	△453,565	1,056,196

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△453,565千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△453,565千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセンタ ー	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	14,300,787	4,816,835	3,866,683	601,137	23,585,444	17,743	23,603,187	—	23,603,187
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	9,801	9,801	49,050	58,851	△58,851	—
計	14,300,787	4,816,835	3,866,683	610,938	23,595,245	66,793	23,662,038	△58,851	23,603,187
セグメント利益	571,364	476,081	185,910	131,011	1,364,367	7,426	1,371,793	△455,276	916,517

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△455,276千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△455,276千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。